

Hokuchiku High School English Course News



英語科ニュース令和3年度秋号

編集・発行

福岡県立北筑高等学校

〒807-0857 八幡西区北筑 1-1-1

TEL 093-603-6221

<http://hokuchiku.fku.ed.jp>

English Drama 竹陵祭にて英語劇披露



HIGH SCHOOL MUSICAL



10.22(Fri)
Starts at 9:15



10月22日(金)、本年度の竹陵祭(文化祭)が開催されました。例年、竹陵祭において2年生英語科は英語劇を披露しています。昨年は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、ビデオ撮影された英語劇を各教室で鑑賞するスタイルでしたが、今年は感染対策に工夫を凝らし、ステージでの上演となりました。今年度からは1年生もサポートという形で英語劇に参加し、生徒たちは半年以上前から準備を重ね、この日を迎えました。約1時間の生徒の熱演に、観客も手拍子や歓声で応え、英語劇は大成功のうちに終わりました。今回の英語劇について、6人の先輩方の話を聞いてみましょう。



英語科2年 戸村 百花(Act 1 監督・シンガポール日本人学校中学部出身)

コロナ禍でほとんどの行事が中止されていく中、唯一英語科で団結して取り組める行事だったため、絶対に最後までやり遂げようという決心していました。みんなが協力してくれたので、それほど苦労したことはありませんが、Act 1 のメンバーが気持ちよく取り組めるように気を配りました。最後に3つすべての Act が合わさって一つの劇が完成した時、とても感激しました。大切なのは成功したかどうかではなく、クラス全員が一つとなって一生懸命取り組んだかということだと思います。中学生のみなさん、何事も誰かと協力すれば、必ず成し遂げられます。仲間を信じて、色々なことに挑戦してほしいです。

英語科2年 原田 玲奈(Act 2 監督・洞北中出身)

監督として一番苦労したことは、意見を上手に伝えることです。限られた練習時間を有効に使えるよう、そして、分かりやすく伝わるように、優先順位を考え、工夫を凝らして指示を出しました。工夫を凝らすことで、みんながすぐに取りかかったり、改善してくれたりしたのでとても嬉しかったです。また、的確な指示を出すことで、みんなが協力しやすくなり、自分一人で抱え込むことがなくなりました。今回の英語劇を通して、言葉にして伝えることの大切さを学びました。英語科では英語にたくさん触れられるだけではなく、このような独自の行事を通して自分を成長させることができます。中学生のみなさんにもぜひ経験してほしいです。



英語科2年 今泉 穂香(Act 3 監督・穴生中出身)

今回の英語劇で Act3の監督を務め、リーダーシップを取ることの大変さとフォロワーシップの大切さを学びました。今年からは2年生だけでなく、英語科の1年生も加わったため、2学年をまとめつつ、指示を出すのは本当に大変でした。先を見通して、その日にすべきことは何かを明らかにし、計画的に進めていくよう気をつけました。本番直前まで思い通りにならないことが続きましたが、フィナーレで拍手喝采を浴びたとき、色々なことが報われたような気がしました。今後、リーダー・フォロワーのどちらの立場に立った時にでも今回の経験を活かせると思います。

英語科2年 石田 有莉佳(振付担当・穴生中出身)

今回の係を通して、指示を出すことと教えることの難しさを学びました。クラス LINE にダンス動画を送るなどして、みんなが練習しやすいように工夫しました。休み時間にも教室でダンスを教え合っている様子が見られて、毎日とても嬉しかったです。英語劇成功を目指して、クラス一丸となって取り組み、かけがえのない時間を過ごせました。英語のスキルアップはもちろんですが、より良いものを作り上げるために、友達と話し合うことで、クラスの絆も今まで以上に強まったと思います。中学生のみなさんにも、こんな達成感を感じることでできる行事をぜひ経験してほしいと思います。大人になっても忘れることのできない素敵な思い出になること間違いなしです！



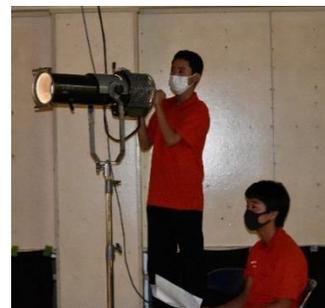
英語科2年 吉田 桜乃(振付担当・浅川中出身)

英語科である私たちだけにしかできない英語劇がより良いものになるよう、自分のダンス経験を活かしたいと思い、振付係に立候補しました。一番苦労したことは、一人一人にきちんと練習してもらい、ダンスを覚えてもらうことでした。ダンスが苦手な練習に前向きになれない人もいたので、楽しくダンスの練習ができるようにサポートしました。ダンスの立ち位置を考えるとなどは、クラスメートみんなの意見を取り入れながら考えました。みんなで話し合い、協力することの大切さを感じました。大変なことも多かったですが、本番で練習以上のパフォーマンスができ、たくさんの拍手をいただけてとても嬉しかったです。



英語科1年 廣瀬 萌々乃 (2年のサポート・穴生中出身)

今回、先輩方の英語劇の成功と、来年の英語劇成功のために経験を積むことの2つを目標に積極的に取り組みました。監督の先輩方は、今改善すべき所・次に目指すゴール・そのために必要な行動、と私たちが分かりやすいように指示を出してくれました。実際に先輩方の行動を見て、来年自分たちがどのように動くべきなのか学ぶことができ、本当に良い経験になりました。また、クラスのチームワークの良さや、クラスメートの良いところや得意なところに改めて気付くことができたのも良かったです。演者だけではなく、監督・振付・音響・照明・裏方・小道具・大道具・衣装などたくさんの人が関わって作り上げる英語劇は、竹陵祭の名物の1つだと思います。エンディングの時に笑顔でいっぱい先輩方を見て、来年自分たちも最高の英語劇を作りたいと強く思いました。中学生のみなさん、積極的に行事に取り組むことで、新しいことを学び、達成感を強く感じることができます。受験勉強で忙しい中でも、何かに挑戦し、残りの中学校生活をやりがいのあるものにしてほしいです。



Speech Contest 第40回福岡県高等学校スピーチコンテスト(暗唱の部)出場

英語科1年 中井 光琉(遠賀中出身)

将来、英語を用いて社会貢献することが夢なので、北筑高校英語科を受験しました。英語科で実践的な英語力を身につけ、英語でのコミュニケーション力を向上させたいと思っています。一番好きな科目は、英語科独自の授業である時事英語です。授業は全て英語で行われるため、最初はなかなか聞き取ることができませんでしたが、予習を徹底すると1ヶ月くらいで内容を理解できるようになりました。この授業では、英語をたくさん使うことでリーディング力・リスニング力・スピーキング力が向上するとともに、テーマに沿った英語エッセイを書くことでライティングに必要な語彙力や表現力も高まってきたと実感しています。



今回、スピーチコンテストに向けて練習をしていく中で、多くのことを学ぶことができました。マザー・テレサのノーベル賞のスピーチを暗誦したのですが、内容を深く理解し彼女の気持ちになり、感情を込めてスピーチすることに大変苦労しました。先生方に英単語の発音や抑揚などを丁寧に指導していただきました。本番では緊張しましたが、自信を持ってスピーチをすることができました。校外の大会に参加することによって、他校の生徒の流暢な英語や多様な価値観にも触れることができ、これまで以上に自分の英語力や思考力を向上させたいと思いました。これからも積極的に行事に参加していくつもりです。

Debate Contest 福岡県ディベート大会出場

ESS部 英語科2年 原田玲奈(洞北中出身)・平野楓(芦屋中出身)・水村いろは(芦屋中出身)・渡邊なな(八児中出身)
英語科1年 前原壮汰(穴生中出身)

サポート 英語科2年 戸村百花(シンガポール日本人学校中学部出身)・普通科2年 和才礼音(木屋瀬中出身)

10月23日(土)、福岡県ディベート大会が行われました。英語科生徒で構成されたESS部を中心に、サポートとして英語科2年の戸村百花さんと普通科2年の和才礼音君が出場しました。第1ラウンドは久留米高校に勝利、第2ラウンドは直方高校に引き分けという結果で、残念ながら準決勝に進むことはできませんでした。2年生にとっては竹陵祭英語劇と並行しての準備でしたが、みんな大変よく頑張りました。



中学生のみなさんへ 自分の可能性が開花する場所、北筑高校へ！

英語に少しでも興味のある方は、ぜひ北筑高校英語科を進路選択の一つに加えてみませんか？詳しくは本校ホームページを御覧ください。みなさんにお会いできることを楽しみに待っています。